

# 創薬支援戦略室の概要

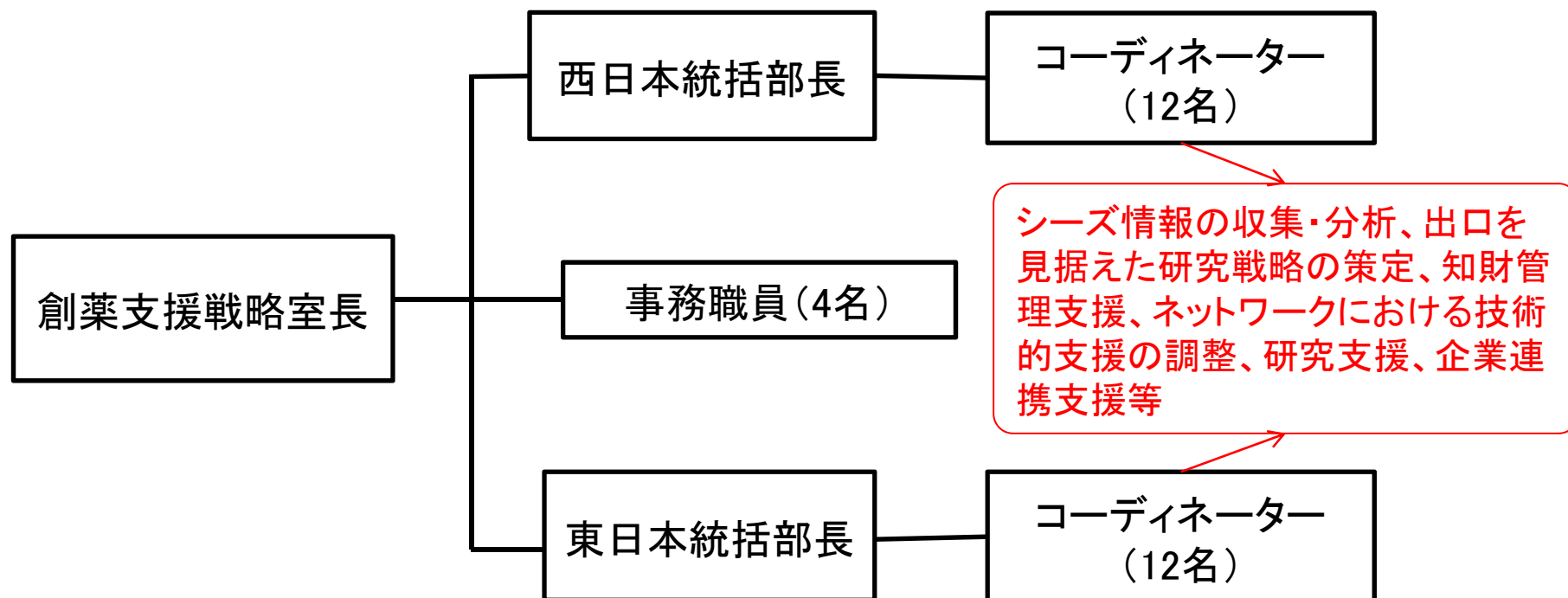
資料5－1

平成25年10月1日時点

**グローバル製薬企業に匹敵する国際標準の目利き評価、研究戦略策定、プロジェクト管理を行うことができる、我が国初の公的創薬エキスパート集団**

- NW本部機能を担いうる経験豊富なエキスパートを製薬企業から多数採用
  - アンメットニーズに照らした創薬シーズ(新標的・新物質)の“目利き”能力
  - 実用化に焦点をあてた無駄のない研究戦略策定機能
  - 創薬研究の隘路となる様々な失敗要因に的確に対処できるリスク予測管理能力
- 創薬支援に必須な多様な専門性を確保 ⇒ 専門家チームによる総合支援を初めて実現
  - 探索薬理、薬効薬理、創薬化学、安全性・毒性評価、代謝・薬物動態、物性評価、知財管理、etc
- 多数の製薬大手から生え抜きの人材を登用
  - 製薬大手各社に蓄積されてきた失敗リスク回避のノウハウを結集
- 最新のビジネスおよび基礎研究に関する深い理解に基づいた高度な情報収集能力
- 新薬の導出・導入に関わる豊富な実経験と強力な交渉力、調整力に基づく企業連携支援機能
- 産学官における研究成果の権利化および知財管理のプロフェッショナル機能
- NIHを始めとする公的創薬推進・支援機関との情報交換およびコラボレーションを開始

## 創薬支援戦略室の組織について(31名体制)



- ・室長、統括部長は、すべて採用。  
前職は、それぞれ大学(製薬企業経験あり)、製薬企業。
- ・コーディネーターは、定員24名中19名採用・内定。  
前職(基盤研内前職を除く)は、製薬企業等14名、大学2名、国立機関等2名、特許事務所1名(製薬企業等の経験者は計16名)。  
今後、引き続き、コーディネーターの採用選考を実施予定。
- ・事務職員は、すべて国等から出向。